



こんにちは

# 白子の議会

です

第86号

平成19年11月1日

編集発行  
白子町議会

☎ 0475(33)2111



クラシックカー 白子町を駆けぬける  
(ラ・フェスタミッレミア2007)

H19.10.16

## 第3回定例会

- 一般質問……………2～5ページ
- こんなことが決まりました……………6ページ

# 一 般 質 問

## 町政をきく

平成19年第3回定例会が9月20日から26日までの7日間、開催され、3名が登壇し、町政全般を質しました。

### 農業用排水路の保全 維持管理について

議員 白子町は、昭和三十年

から始まった県営圃場整備事業により田畑の区画整理と、これに伴った農道や用排水路などの公共施設が整備されました。約半世紀が経過した現在、当時とは社会環境も一変し、農村集落から混住化社会へと進み、生活様式も大きく様変わりをしました。

農道や用排水路は、今では地域の社会資本となり、そこに暮らす住民の生活に重要な役割を果たしています。特に農道は、行政の管理のもと町道として認定され、地域の生活道路として利用されており、排水路は生活排水の放流先として使用されています。

農業用の施設として造られた用排水路でありながら、現在では場所によってはそれ以外の利用のほうが多いといった状況が、あちらこちらに見られるようになってきました。が、この維持管理費用は農地所有者が分担をして支払って

います。現在の用途を考えると、これは誰のものなのか、誰が維持管理すべきなのかという素朴な疑問も聞かれています。

事業から半世紀が過ぎ、老朽化に伴い大規模な修繕を要する箇所などが多く見受けられる中、米の価格の低迷や農業構造の変化により、維持管理費の負担が経営を圧迫する要因の一つになっていると言われています。

これらの事を考慮して、今後県や町では土地改良事務所を整理し、維持管理を行政機関で行ない、公平な住民負担にすべきであると思いますが見解を伺います。

### 排水路等の管理は 生活基盤の一部 と位置づける

町長 農業用排水路等は、昭和三十年から四十年代にかけ

ての耕地整理で整備され、地域の環境は著しく良くなりました。現在その機能をどのように維持していくかが、大きな問題である事は事実です。特に農業用排水路の管理保全は全国的な問題となっています。

今年から「農地・水・環境保全」対策が打ち出されて、白子町でもこの事業を一部展開しています。南日当、北日当、福島が該当地区となっており、その経過を見極めたいと思っています。

質問のように、排水施設は農家だけの施設ではなく、住

民の生活排水にも使われています。また大雨の時などは、排水路や排水機場が地域防災の上でも重要な役割を担っています。しかしこれらの施設の維持管理は、農地の所有者と町の補助金で賄われています。

今後は農業用排水路は、農業施設から地域の安全、安心を維持する公共施設であるというように、意識を変えなければならぬと思います。住民の意識を高め、保全、維持の体制づくりを進めていきたいと考えています。



再整備が進む排水路（白子第三地区）

## 合併のとらえ方は

**議員** 長生郡市の合併は、一回目の破綻の総括、評価を何もしない中で二回目の法定協議会を立ち上げましたが、長生村の離脱表明により、一市五町の規約変更を、一宮町、白子町が否決し、協議会は休止になりました。いろいろ手法を変えてすすめられてきた合併について、町長はどのようなとらえ方をしているのか伺います。



## いろいろな要因の重なりで

**町長** 協議会が過密すぎたこと、少数意見が軽視されたのではないかと思えます。また、合併のメリットより協議会の運営などへの不審がこのような結果になったのではないかと思います。

## 要支援者への影響は

**議員** 介護保険法の改正によって「要介護」から「要支援」になってしまったはざまにある方は、介護ベッドが借りられなくなり、自立が妨げられるなどの影響がでているのではないかと思いますが、考えを伺います。

## 町に相談を

**町長** 要支援になっても、そういう事例があれば、町に相談してほしいと思います。それによって早く解決できると思います。

## 今後の

## まちづくりは

**議員** 合併をしなかった自治体でも元気ががんばっているところもあります。町長は、今後のまちづくりをどのように考えるのか伺います。

## 参加と協働で

**町長** ユニークな発想で費用と負担、財政の健全化を考え、若者の増えるような施策をしていかなければならないと思います。

もう一つは、参加と協働という自治を考え、推進していくことが必要だと思っています。



## 影響は

欠かせない乗り物ですが、バス路線のない地域や、本数が少なく利用しにくい地域で巡回バスの実施を検討すべきではないかと思いますが、考えを伺います。

## 既存路線の継続を

**町長** 現在、「本納線」「白里線」の赤字対策について協議中です。単に会社に補助を出すということではなく、乗

## 巡回バスの実施を

**議員** 現在、家族と住んでいても日中は独居、あるいは夫婦二人になる人もいます。こういう方々は、交通手段が絶たれると外出しにくくなり、家にこもりがちになってしまいます。バスは町民にとって

増便が望まれる路線バス



る人が増える工夫をしなければならぬと思っています。

また、バス路線のないところでの新たな路線は不可能ですし、町営バスも不可能だと思えます。当面、既存路線を継続できるように努力していきたいと思っています。

## 食糧備蓄、避難場所など災害対策は

**議員** 異常気象といわれている今、町もいつ大きな災害に襲われるかわかりません。町の食糧備蓄の状況を伺います。また、避難場所を住民に徹底する必要があるのではないかと思います。対応を伺います。

## 回覧板などで周知を

**町長** 役場の防災倉庫には、食糧の備蓄はありません。米は販売業者から、食糧は商店から調達することで協定を結んでいるので対応できると思っています。

避難場所は、防災マップも配ってありますが、回覧板に避難場所の一覧を掲載するな

どの工夫を図っていききたいと思っています。



高齢で体の不自由な方の避難所『はまひるがお』

## 地域防災組織「八地区」の進捗について

もらい、組織結成を働きかけているのが現状です。

**防災無線放送を  
震度五から震度  
四に下げても**

**議員** 白子町は、安全・安心で健康な町であれば、限りなく発展することを確信します。そこで、災害に強い町であること、そして地域防災組織や町内モデル八地区の推移、また活動状況等について伺います。

### 地域防災組織に行政の取り組み状況は

**町長** 町内八地区には、自治会を中心に、自主防災組織が結成されていますが、具体的に訓練した地区は、一〜二か所と聞いています。

組織図を作り役割を決め、海岸の方では、土嚢の備蓄対策等を行っています。

自主的な初期消火や救護活動、避難誘導等が、白子町全体に組織されることが望ましいと思います。

そこで、八地区組織を奨励するための講演会や促進講座に、役員の方々に参加をして

**議員** 八月の群発地震で、町民から放送が流れていないと苦言がありました。そこで、震度四に下げた放送について伺います。

### 住民の不安をおおるから おそれがあるから

**町長** 八月の群発地震で放送がなかったことについて「住民の不安をおおるといいう方が問題ではないか」と思い、また「放送では何を流すか」ということで、放送はしませんでした。

ガス事業所の場合は震度四で緊急招集がかかります。今回も職員全員が集まり「ガス

メーター」の復旧作業等にあたりました。



防災行政無線56ヶ所に設置

### 登下校時の 安全対策は

**議員** 児童生徒の安全な登下校についてですが、災害発生時、住民にどのように協力を得ようとしているのか、伺います。

### 学校と地域が 連携した訓練を

**町長** 各学校では学級活動や集会を通して、万一来るべき事態に備え指導しています。本来ならば、PTA、地域の皆さんと一緒に訓練が望ましいのですが、現時点ではそこまでの状況には至りません。

これからも、登下校時、災害、防犯の面からも皆さんに協力していただきたいことを、地域や老人クラブ等に引き続きお願いしていきたいと思っております。



### 高齢者、障害者への対応は

**議員** 災害時に高齢者や独居老人、障害者等への把握と対応について伺います。

### 可能な限りの対応

**町長** 町では援助が必要と思われる高齢者、独居老人世帯等の情報を整備し、災害時の安否確認などを行っています。

独居老人については、民生委員の方々が担当しています。

昨年から消防団には、「独居老人・高齢者二人世帯」の把握のためのリストアップをお願いしてあります。個人情報保護法がネックとなっておりますが、可能な限りの対応をいたします。

### 保育所の耐震について

**議員** 保育所の耐震度調査、および園児の避難訓練は、どのように行なわれているか伺います。

**園児の避難に万全を期し意識の高揚を計りたい**

**町長** 保育所の耐震については、白潟と南白亀保育所は、鉄骨構造であり、関保育所は鉄筋コンクリート造りで耐震構造になっています。白潟保育所は、昭和四十八年に全面改装しており、特別な問題はないと、捉えています。

園児の避難訓練については、保育所では、長年・年

中には防災訓練をし、万一の時は防災頭巾をかぶり、園庭に避難することを訓練させています。0歳児も入所しているが、乳母車のような大きい車で避難させるようにしています。



乳幼児の避難車

災害は、いつくるか分からないので、安全な対策は可能な限りしていくつもりです。



# 町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は12月の予定です。

詳しいことは、議会事務局へ。TEL33-2111/FAX33-4132  
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。